

水道事業の業務状況（令和元年9月30日）

1 事業の概況

加須市の水道事業は、平成25年度に厚生労働大臣から新たな加須市水道事業として創設認可を受けるとともに、合併に伴う水道料金の一元化を行い、平成25年度及び平成26年度の料金一元化に伴う激変緩和措置を経て、平成27年度からは、全市域での統一料金の適用による事業経営を行っています。

水需要については、環境に配慮した節水意識の高揚、節水型家電の普及に加え、給水人口の減少により、一貫して減少傾向にあります。平成30年度決算においては、有収水量は減少したものの、大口需要者の水需要の増加に伴い、水道事業の源泉である料金収入は、微増しました。

また、経営の効率性については、その重要な経営指標である有収率が、平成25年度から4年間連続して、年1ポイント以上減少しておりましたが、平成29年度決算に引き続き、平成30年度決算につきましても0.43ポイント増加し、85.37%という結果になりました。しかし、目標（90%）としている有収率を達成するためには、施設の稼働が更に収益につながるよう引き続き、対策を講じていく必要があります。

そこで、令和元年度の事業経営としては、事業運営の指針である「加須市水道ビジョン改訂版」に掲げた各施策の推進はもとより、短期的には、漏水調査や老朽管の更新による有収率向上策による経営改善を図るとともに、中長期的には、「加須市総合振興計画後期基本計画」など市の主要計画との整合や社会経済情勢の変化に応じた水需要の動向を踏まえながら、決算ごとに投資計画や財政収支見直しを見直し、引き続き、計画的な水道施設の更新や包括的な民間委託等の新たな経営手法を検討しつつ、『未来へつなぐ安心・安定加須の水』を市民に継続して供給できるよう、計画的かつ効率的な事業経営に努めていきます。

(1) 営業状況

配水量は、年間予定15,643千 m^3 に対し、7,843千 m^3 （50.1%）を執行しております。

一方、料金収入のもととなる給水量（使用水量）は、年間予定13,342千 m^3 に対し、6,669千 m^3 （50.0%）を執行し、これによる収入額は、年間予定2,437,533千円に対し、1,216,051千円（49.9%）となっております。

(2) 建設改良工事

令和元年度に予定している設備投資に関する事業は、下記のとおりです。

事業名	事業費（千円）	事業概要
石綿セメント管更新	249,336	石綿セメント管の更新（耐震化）工事
水圧不足対策	151,257	水圧不足解消のための配水管布設工事
有収率向上対策	29,740	漏水多発地区における配水管布設替工事
水道危機管理対策	36,000	緊急時用連絡管の布設工事
配水管新設整備	45,283	配水管の新設工事
浄水場統廃合更新整備	885,575	久下浄水場の更新工事
浄水場設備改修	92,100	各浄水場の設備改修工事

2 経理の状況

収 入	予算現額 (千円)	予算執行累計額 (千円)	執行率 (%)
収益的収入	2,840,873	1,350,274	47.5
資本的収入	932,718	54,270	5.8

支 出	予算現額 (千円)	予算執行累計額 (千円)	執行率 (%)
収益的支出	2,733,555	651,419	23.8
資本的支出	2,101,582	375,813	17.9

※ 収益的収支：家庭への給水や県水の受水などの営業活動に伴う収入と支出

※ 資本的収支：水道管や浄水場の整備などの設備投資に伴う収入と支出